



学校だより

12月号



～豊かで調和のとれた子の育成～

たくましく生きる人 なかよく生きる人

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tana/>

みのたなくん

振り返りと田奈のみのり

校長 酒井 浩明

木枯らしが校庭の銀杏の葉を黄金色に染め始める、本格的な冬の到来を感じる時期となりました。

10月下旬から11月の本校は、次のような行事が目白押しとなっております、ひと月早い師走のスタートという感じでした。

- 10月21・22日 6年生 日光修学旅行
- 3日 トランペット鼓笛隊 青葉区民まつり発表
- 6日 新1年生 就学時健診
- 7日 6年生 横浜市立小学校体育大会
- 8日 全校 芸術鑑賞教室
- 12日 5年生 鼻緒づくり
- 16日 全校 田奈のみのり
- 21・22日 4年生 愛川宿泊体験学習
- 25日 5年生 社会科見学、6年部活動体験
- 26日 3年生 区音楽会
- 28日 5年生 わら草履づくり
- 29日 6年生 英語村

これから始まる12月は、各学級での夏休み後のお子さんの様子を個人面談でお伝えするとともに、保護者の皆さんからいただく、「よりよい学校づくりのアンケート」を参考に、私たちも今年度の指導の振り返りを進めます。

そして、子どもたちへの進級・進学を見据えた指導や、来年度に向けた準備を考え始めます。「よりよい学校づくりアンケート」では、今年度よりインターネットを活用しますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

また、冬の到来とともに、寒さのために両手をポケットに入れ、背を丸めて登下校する子どもの姿が見られます。朝会でも指導しますが、転倒時の危険防止のためにも、防寒のための重ね着や手袋の活用をご検討ください。

さて、過日の『田奈のみのり（土曜参観）』には、多くの保護者の皆様にご来校いただきましてありがとうございました。

『田奈のみのり』で特に印象に残ったのは、5年生の餅つき体験でした。

5年生が前々日から洗米と浸水など本格的な準備を始め、当日は6時前から教職員が出勤し、校庭に「かまど」と臼（うす）を各6基用意し、校舎から湯を運び、羽釜に満たしたり、



＜田奈っ子菜園の大根＞

消毒した臼を温めたりと準備を進めました。7時過ぎには薪に点火して下準備を終え、担任たちは児童を迎える準備に転進しました。

8時00分頃から、PTA役員の協力を得て、蒸籠（せいろ）で餅米を蒸し始めました。

8時55分の「試しつき」からは、5年生の保護者や地域の方が力仕事の中心となり、子どもたちの笑顔と声援の中で、蒸した米を杵でぐいぐいと潰し、つき、捏ね、粒々感が無くなってきたところで、5年生の児童と餅つき役をバトンタッチしていただきました。

つき上がった餅は、家庭科室で保護者の指導の下、5年生が丸め、きなこを塗り、学級毎の食缶に入れていきました。

最後の片づけも保護者の方や地域の方のご協力で滞りなく終わり、5年生とつき上がった餅で会食していただきました。

5年生が餅つきの工程の大半を体験し、26日の餅をつき上げ、5年生が育ててきたお米を全校児童が味わえたのも、多くの保護者の方と卒業生の保護者の方、地域の方にご協力をいただいたおかげです。ありがとうございました。

なお、収穫した餅米の一部は、幼保小交流事業で田植え見学や稲刈り体験に来られた「もみじ第二保育園」と「あかね台光の子保育園」に差し上げています。